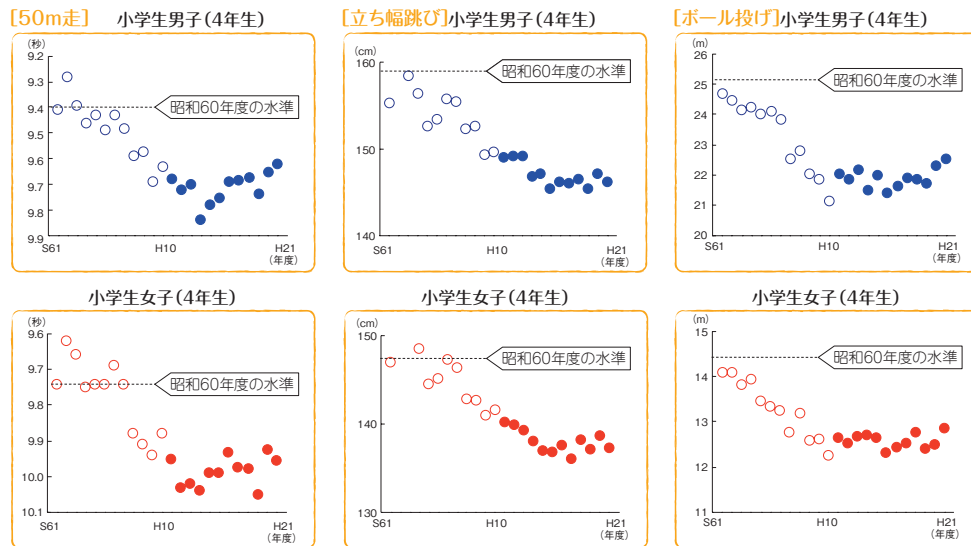


子どもの体力低下とスポーツ少年団

文部科学省の調査によると、子どもの体力低下は、今から30年ほど前に始まっています。

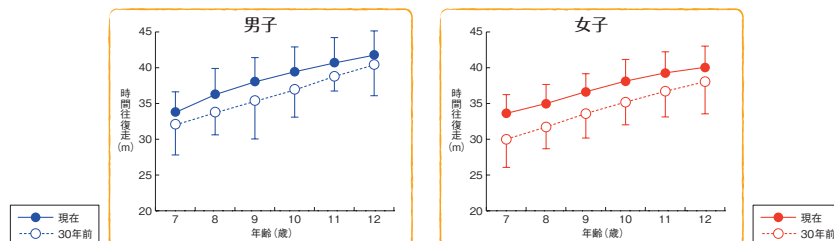
近年、ようやく子どもの体力低下は止まり、ほぼ横ばいとなっていますが、低い水準のままです(図①)。元気にからだを動かして遊び、スポーツに親しむようにならないければ、子どもの体力は向上しないのではないのでしょうか？

①子どもの体力・運動能力の変化



スポーツ少年団に所属する団員の体力は、今から30～40年ほど前の団員と比べて、ほとんど変わらないことがわかっています(図②)。つまり、スポーツ少年団に所属して、からだを動かしている子どもの体力は、低下していないのです。

②団員の体力・運動能力の変化(例)



スポーツのよろこびを提供して、たくさんの子どものところとからだを育ててきたスポーツ少年団。社会環境の変化から、子どもの健やかな成長が危惧されているなかで、その役割に、ますます期待が寄せられています。